

平成23年度宮古市立第一中学校 学校公開 国語 指導案

<p><b>【自己課題】</b> 資料や機器などを効果的に活用しながら、異なる立場を想定し、論理的な構成や展開を考えて話す能力を培う授業計画を工夫する。</p>			
1. 実施日	11月11日(金)	2. 授業者・学級	城内千賀子 2年1組 男子13名 女子16名 計29名
3. 教科名	国語	4. 単元名	提案のしかたを工夫しよう「プレゼンテーション」
5. 単元の目標	<p>○調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとする。【国語への関心・意欲・態度】</p> <p>○話の中心的な部分と付加的な部分に注意し、論理的な構成や展開を考えて話すことができる。【話すこと・聞くこと イ】</p> <p>○目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すことができる。【話すこと・聞くこと ウ】</p> <p>○相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解することができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(オ)】</p>		
6. 単元の評価規準	<p>【国語への関心・意欲・態度】 調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。</p> <p>【話す・聞く能力】</p> <p>聞き手の理解や同意を得られるように、わかりやすい構成や展開を考えて話している。(イ)</p> <p>わかりやすく説明するために、機器を活用して要点を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。(ウ)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 相手や目的に応じて、話や文章の形態や展開に違いがあることを理解して話している。(イ(オ))</p>		
7. 単元の指導計画 (全0時間)	<p>【第1時】 学習の目標と見通しを持ち、グループごとにテーマを決める。</p> <p>【第2時】 プレゼンテーションに必要な情報を集め、提案する事柄を決める。</p> <p>【第3時】 プレゼンテーションに使う写真や資料等を準備する。</p> <p>【第4時】 4分間の絵コンテを作成し、話の構成を考える。</p> <p>【第5時】 話し方、資料の提示の仕方などに注意しながら練習を行い、リハーサルの様子を撮影する。</p> <p>【第6時】 リハーサルの様子を見直し、本番に向けて推敲する。(本時)</p> <p>【第7時】 プレゼンテーションを行い、互いの提案を検討する。</p>		
8. 本時の指導目標	<p>☆聞き手が知りたいことを予測し、聞き手の気持ちをつかむ論理的な構成や展開を考えることができる。【話すこと・聞くこと イ】</p> <p>☆聞き手にわかりやすく資料を提示したり、機器を効果的に活用して話すことができる。【話すこと・聞くこと ウ】</p>		
9. 本時と「自己課題」とのかわり	<p>(1) 課題設定の理由</p> <p>全体的に意欲的で、授業に前向きに取り組む生徒が多い。しかし、人前で自分の考えをまとめて話すことに抵抗感を持っている生徒が多く、自分の考えを持っていても、考えを伝えるために適切な言葉を選ぶ力や、明確に伝えるための文章の組み立てを考える力が劣っている。</p> <p>そこで、少しでも多く「話す・聞く」場を設けるために、授業の中で小グループでの話し合いを取り入れたり、1分間スピーチを実施することにした。1分間スピーチにおいては、発表側はただ発表するだけでなく、資料を活用したスピーチを行うように段階を踏みながら発展させ、聞き手側は、感想発表や質疑応答を取り入れることで、一方通行にならないように意識し、活動させている。</p> <p>このように、意図的に設定した活動を積み重ねていくことにより、一人ひとりが自分の言葉で思</p>		

	<p>いを表現しようとする意欲や、相手に伝える能力を高めることにつながると考えている。</p> <p>(2) 指導の工夫・改善</p> <p>本時では、聞いている人の気持ちをつかむ説明を再構成することが重要な学習活動である。その手だてとして、自分たちのリハーサルの様子を映像で確認させ、よりわかりやすい発表にするためのポイントに沿って推敲させる。また、聞き手の立場に立ちながら、話し方や構成、資料の提示の仕方を考えさせる。</p>
10. 授業を 観る視点	<p>◎異なる立場や考えを想定しながら自分達の考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えているか。</p> <p>◎聞き手にわかりやすいような資料の提示の仕方を工夫したり、機器などを効果的に活用しながら話しているか。</p>

### 11. 本時の指導計画

段階	学習活動	指導上の留意点 (・) 評価規準 (☆) 自己課題・授業を観る視点 (◎)
導入 (10分)	<p>1 前時の想起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルの反省点を確認する。</li> </ul> <p>2 学習課題の設定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>自分たちの作品を見直し、よりわかりやすい発表を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに1台ずつパソコンを用意する。</li> <li>・前時の復習を含めながら生徒の意見を確認する。</li> <li>・推敲するときのポイントを確認する。</li> </ul>
展開 (25分)	<p>3 プレゼンテーションの分析と推敲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リハーサルの様子を映像で確認し、グループごとに分析を行う。</li> <li>・グループごとの進行案に変更する内容を書き込み、構成や展開を修正する。</li> <li>・提示資料や機器などを効果的に活用しているかを検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントに沿って映像を確認させ、気づいたことを絵コンテに記入させる。</li> <li>・適切な推敲作業ができていないグループについては机間巡視を行い推敲のポイントを示す。</li> <li>◎異なる立場や考えを想定しながら自分たちの考えをまとめ、論理的な構成や展開を考えているか。</li> <li>☆よりわかりやすい構成や展開を考えて修正しているか観察する。【話す聞く能力】①</li> <li>・聞き手にわかりやすい発表ができていないグループについては机間巡視を行い援助する。</li> <li>◎聞き手にわかりやすいような資料の提示の仕方を工夫したり、機器などを効果的に活用しながら話しているか。</li> <li>☆効果的な発表の仕方になるように工夫し、説得力のある発表ができていないグループについては机間巡視をして援助する。</li> </ul>
まとめ (15分)	<p>4 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションでわかりやすく発表するためのポイントをまとめる。</li> </ul> <p>5 次時に向けての練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分析の際に修正した内容で、グループの練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な発表の仕方についてポイントをまとめることができないグループについては机間巡視をして援助する。</li> </ul>

